B6FJ-4131-01

テレビ操作ガイド

「テレビ機能」を詳しく紹介

地デジを見るための準備は完了していますか？

受信環境の確認

地デジを受信できる環境かどうか確認しましたか？
まだ確認していなければ、次のチャートでチェックしてください。

スタート
現在、テレビはケーブルテレビで見ていますか？

→ 見ている：
ケーブルテレビの電波の伝送方式を確認してください。
ケーブルテレビで地上デジタル放送を見る場合は、伝送方式が「**同一周波数パススルー方式**」または「**周波数変換パススルー方式**」である必要があります。
詳しくは、ケーブルテレビ会社にご確認ください。

↓ 見ていない

お住まいの住宅の種類は？

→ アパート、マンションなどの共同住宅：
現在の環境で地上デジタル放送を受信できるか確認してください。
共同アンテナの種類や向きなどが、地上デジタル放送に対応しているか、大家さん、管理組合、管理会社などにご確認ください。

↓ 一戸建て

UHF放送（13～62チャンネル）を受信できていますか？

→ できている：
一般的には地上デジタル放送を見られます。ただし、お使いの状況によっては、新たにUHFアンテナが必要になる場合や、アンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

↓ できていない

地上デジタル放送に対応したUHFアンテナの設置工事が必要です。
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

注：地上デジタル放送が受信できる環境でも、お使いの状況によって、次のような機器が必要になる場合があります。
・ブースター／アッテネーター／分配器／分波器／混合器
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

地上デジタル放送を見るためには

手順	参照
付属品を確認する	『箱の中身を確認してください』
リモコンの準備をする	『取扱説明書』
アンテナ線を接続する	『取扱説明書』
B-CASカードを挿入する	『取扱説明書』
初回設定を行う	本文　P.11
見る	本文　P.14

テレビの視聴や録画には、ライセンス認証が必要なため、初期設定の前にパソコンをインターネットに接続してください。

見ることができないときは？ → P.41

■問合せ先（地デジ放送について）

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）
電話番号：0570-07-0101（IP電話等でつながらない場合は、03-4334-1111）
受付時間：平日…9時から21時　土日・祝日…9時から18時

（社）デジタル放送推進協会（略称：「Dpa／ディーピーエー」）のホームページも見てみよう！

http://www.dpa.or.jp/
デジタル放送に関する情報をご覧になれます。
・地デジとは？
・自分の住んでいるところに電波がきているのかなぁ
・未対応地域の放送開始予定など

（2010年4月現在）

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。

参照していただきたいマニュアルを記述しています。

参照先を記述しています。

このパソコンに添付されている冊子のマニュアルを表しています。

Webで公開している『補足情報』を表しています。『補足情報』は次の手順で表示します。

1. インターネットに接続した状態で、（スタート）→「すべてのプログラム」→「@メニュー」→「@メニュー」の順にクリックします。
2. 「@メニュー」の「安心・サポート」から「富士通のパソコンのマニュアルを見る」を選択し、「このソフトを使う」をクリックします。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows® 7 Home Premium 正規版	Windows
Windows® Internet Explorer® 8	Internet Explorer
Corel® WinDVD®	WinDVD
Fujitsu PowerDVD9 3D Player	PowerDVD

操作説明について

- このマニュアルでは、リモコンで操作できる箇所はリモコンを使った説明としています。マウスで操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。

例：

リモコンでの操作	マウスでの操作
で「確定」を選択し、決定を押します	「確定」をクリックします

- 本文中の操作手順において、連続する操作手順は「→」でつなげて記述しています。
  例）（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作
  …（スタート）→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。
- LIFEBOOKをお使いの場合、このマニュアルで「マウスで操作する」とある箇所は、フラットポイントでも操作できます。
- LIFEBOOK NHシリーズをお使いの場合、「タッチスクエア」に放送中のテレビ番組を表示したり、「タッチスクエア」をリモコンとして使用したりできます。詳しくは Web『補足情報』の「タッチスクエア」をご覧ください。

商標および著作権について

安全上のご注意

このパソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報です

本製品でテレビ、DVD、Blu-ray Disc、ゲームなどの映像を見たり、本製品にご家庭のテレビなどを接続したりしてご利用になる場合には、部屋を明るくして、画面から充分離れてご覧ください。
映像を視聴する方の体質によっては、強い光の刺激や点滅の繰り返しを受けることによって一時的な筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。また、このような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

お使いになるうえでのご注意

大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集を行う場合は、事前に試し録画・録音・編集をして、正しくできることをご確認ください。
- 本製品およびディスクを使用中に発生した不具合、もしくは本製品が使用不能になったことにより、録画・録音・編集されなかった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。

ハードディスクについて

ハードディスクは非常に精密な機器です。お使いの状況によっては、部分的な破損が起きたり、最悪の場合はデータの読み書きができなくなったりするおそれもあります。ハードディスクは、録画・録音した内容を恒久的に保存する場所ではなく、一度見るためや、DVDやBlu-ray Discに保存したりするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

停電などについて

- 本製品の動作中に停電などが起こると、録画ができなかったり、ハードディスクに保存してある録画データが損なわれたりすることがあります。大切な録画データは、DVDやBlu-ray Discに保存されることをお勧めします。
- 録画中やディスクへの保存中に停電などが起こると、録画や保存に失敗したり、ハードディスクから録画データの一部、またはすべてが削除されたりする場合があります。このとき、録画データの一部、またはすべてを、再生できない場合があります。

著作権について

本製品で録画·録音したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル（有償·無償を問わず）、販売することは、法律により禁止されています。

LIFEBOOKをお使いになるときの注意

本製品でテレビ機能を使用するときは、パソコン本体にACアダプタを取り付けてください。

お使いの機種を確認してください

お使いの機種により、使える機能が異なります。操作方法や説明が異なる場合がありますので、お使いの機種で使える機能を事前にご確認ください。ここでは、このマニュアルの説明に必要な機能についてのみ記載しています。パソコンの詳しい仕様については、『取扱説明書』をご覧ください。

お使いのパソコンの機種名（品名）を、梱包箱に貼り付けられている保証書で確認し、次の表の☑欄に印を付けてください。

■ ESPRIMO

☑	お使いの機種（品名）	デジタル3	デジタル1	Blu-ray
□	FH700/5AT	−	○	○
□	FH700/AN	○注1	○注2	○
□	FH550/3AM	−	○	○
□	FH550/AN	○注1	○注2	○注3
□	FH530/1AT	−	○	−
□	FH530/1AN	−	○	−

注1：インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」で「カスタムメイドモデル」をご購入されたときに、「地上・BS・110度CSデジタル」を選択した場合
注2：インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」で「カスタムメイドモデル」をご購入されたときに、「地上デジタル」を選択した場合
注3：インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」で「カスタムメイドモデル」をご購入されたときに、「Blu-ray Discドライブ」を選択した場合

■ LIFEBOOK

☑	お使いの機種（品名）	デジタル3	デジタル1	Blu-ray
□	NH900/5AT	○	−	○
□	NH900/ANT	○	−	○
□	AH550/3AT	−	○	○

このパソコンは、次の機能に対応しています。

対応している視聴機能

お使いの機種（品名）	機能				
	CATV パススルー	字幕放送	データ放送	双方向サービス	電子番組表（EPG）
全機種	○	○	○	○	○

対応している録画機能

■ ESPRIMO

お使いの機種（品名）	ハードディスクへの録画	予約録画／番組表	ダブル録画
FH700/5AT	○	○	○
FH700/AN	○	○	○注
FH550/3AM	○	○	○
FH550/AN	○	○	○注
FH530/1AT	○	○	−
FH530/1AN	○	○	−

注：インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」で「カスタムメイドモデル」をご購入されたときに、「地上デジタル」を選択した場合

■ LIFEBOOK

お使いの機種（品名）	ハードディスクへの録画	予約録画／番組表	ダブル録画
NH900/5AT	○	○	−
NH900/ANT	○	○	−
AH550/3AT	○	○	−

表中のマーク

デジタル3：**ハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CSデジタル放送用）**
地上デジタル放送と、BS・110度CSデジタル放送を視聴、録画できます。

デジタル1：**ハイビジョン・テレビチューナー（地上デジタル放送用）**
地上デジタル放送を視聴、録画できます。

Blu-ray：**Blu-ray Discドライブ**
録画した番組をBlu-ray Discに保存できます。

用語の意味

- **地上デジタル放送** ········ 2003年12月から、地上波のUHF帯を使用して開始されたデジタル放送です。詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2010年4月現在）をご覧ください。
- **BSデジタル放送** ········ 2000年12月から、従来のWOWOW、NHK-BSといったBS放送（BSアナログ放送）に加えて新たに始まった、放送衛星（BS）を使用した放送です。詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2010年4月現在）をご覧ください。
- **110度CSデジタル放送** ··· 2002年3月から、複数の放送事業者により順次開始された、通信衛星（CS）を用いた衛星放送の一種です。ほとんどの放送が有料です。
- **CATVパススルー** ······· ケーブルテレビ（CATV）会社が地上デジタル放送を配信するときに使用する、周波数変換パススルー方式と呼ばれるデータ伝送方式です。ご契約のケーブルテレビの伝送方式は、ケーブルテレビ会社にご確認ください。
- **データ放送** ············· 文字や図などで情報を提供する放送です。
- **双方向サービス** ·········· 通信回線を利用して、データを送受信する機能です。

BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を見るためには、事前に放送事業者と受信契約をする必要があります。すでに契約をしている場合は、新たに契約をする必要はありません。

目次 Contents

このパソコンでは こんなことができます

パソコンでデジタル放送を楽しむ

地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送（一部機種のみ）をパソコンで手軽に楽しむことができます。

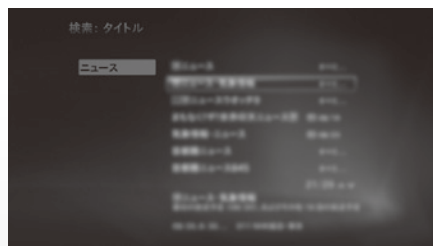
テレビを見るための準備をする …… p10

リモコンで簡単操作

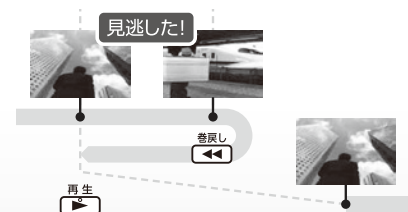
パソコン操作が苦手でもリモコンだけで簡単に操作できます。

テレビを見る …… p14

見たい番組を探す

「ジャンル」や「タイトル」などのキーワードから見たい番組を探すことができます。

番組を探す …… p21

見たいシーンを逃さない タイムシフトモード

見ている番組を一時停止したり巻き戻したりすることができます。

以降、時間がずれて（シフト）映像が表示される。

タイムシフトモードとは …… p15

双方向サービスで番組に参加する

番組によっては、双方向サービスを利用してクイズなどに参加することができます。

データ放送を見る …… p19

番組表から簡単予約

見やすい番組表から簡単に目的の番組を録画予約できます。

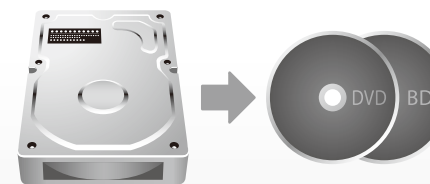
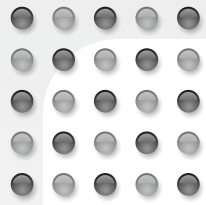
予約録画をする …… p26

撮り逃しがないから安心 シリーズ録画

毎日／毎週放送される番組を、まとめて予約しておくことができます。

シリーズ録画について …… p27

ディスクに録画番組を保存する

ハードディスクに録画した番組をDVDやBlu-ray Discに保存することができます。

録画番組をディスクに保存する …… p30

テレビを見るための準備をする

このパソコンでテレビ番組を見るためには、デジタルテレビと同様の準備が必要です。
ここでは、テレビを見るための準備について説明します。

テレビ機能を使うために

インターネットに接続してください

テレビの初期設定、視聴、録画、録画番組のディスクへの保存には、インターネットへの接続が必要です。テレビを見るための準備をする前に、インターネット接続の設定が完了していることを確認し、パソコンをインターネットに接続してください。
インターネット接続について、詳しくは『取扱説明書』をご覧ください。

アンテナケーブル／ B-CAS カードをセットしてください

テレビの視聴、録画には、アンテナケーブルとB-CASカードがパソコンにセットされている必要があります。『取扱説明書』をご覧になり、アンテナケーブルの接続とB-CASカードのセットを行ってください。

B-CASカードについて

- このマニュアルでは、「B-CASカード」と「miniB-CASカード」を総称して、「B-CASカード」と呼んでいます。
- デジタル放送の放送信号は暗号化されており、受信機で暗号を解除する必要があります。B-CASカードには、この暗号を解除するためのICチップが入っています。
- B-CASカードについての詳細は、カードが貼り付けられていた台紙をご覧ください。
- B-CASカードは、お客様と（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）社との直接契約に基づき使用するものです。B-CASカード使用許諾契約約款に従って管理してください。
- パソコンの修理時は、B-CASカードを取り外し、お客様の責任で保管してください。
- B-CASカードの紛失・盗難時や、破損したり汚れたりした場合は、B-CASカスタマーセンターまでお問い合わせください。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（B-CAS）　カスタマーセンター
電話番号：0570-000-250 [IP 電話の場合 045-680-2868]
受付時間：10:00～20:00

初回設定をする

このマニュアルでは、リモコンで操作できる箇所はリモコンを使った説明としています。マウスで操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。

例：

リモコンでの操作	マウスでの操作
(十字キー)で「確定」を選択し、(決定)を押します	「確定」をクリックします

1 Windowsが起動していない場合は、(パソコン電源)を押します。

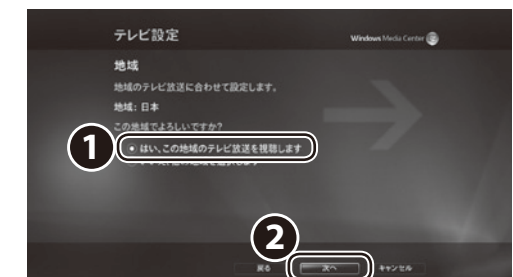
Windowsが起動します。

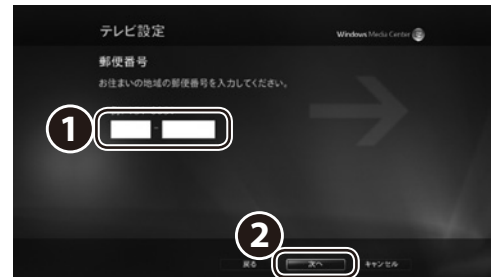
2 (テレビ)を押します。

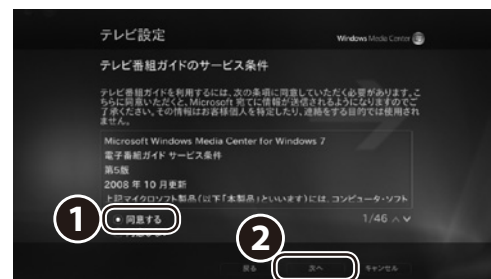
マウスでの操作
- マウスを使って起動する場合は、(スタート)→「すべてのプログラム」→「Windows Media Center」の順にクリックします。

次のような画面が表示されたときは、(決定)を押し、手順３の画面まで進んでください。

3 (十字キー)で「テレビの初期設定」を選択し、(決定)を押します。

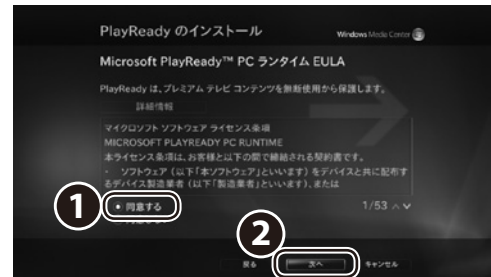
4 「はい、この地域のテレビ放送を視聴します」を選択します。

1. (決定)を押して、「はい、この地域のテレビ放送を視聴します」の○を◉にします。
2. 「次へ」が選択されていることを確認し、(決定)を押します。

5 お住まいの地域の郵便番号を設定します。

1. リモコンの数字ボタンで郵便番号を入力します。
2. 「次へ」が選択されていることを確認し、(決定)を押します。

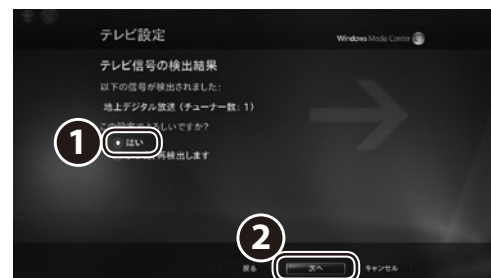
6 テレビ番組ガイドのサービス条件を確認します。

1. サービス条件をお読みになり、(決定)を押して、「同意する」の◯を◉にします。
2. 「次へ」が選択されていることを確認し、(決定)を押します。

スクロールするには

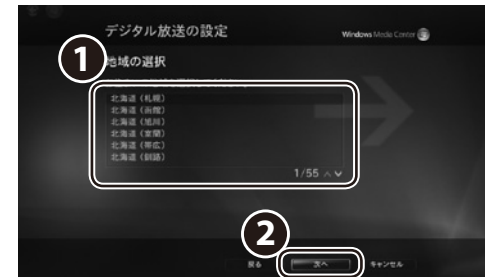
サービス条件やライセンス条項を読むためにスクロールするには、(∨)を押します。

7 「PlayReady」のソフトウェアライセンス条項を確認します。

1. ライセンス条項をお読みになり、(決定)を押して、「同意する」の◯を◉にします。
2. 「次へ」が選択されていることを確認し、(決定)を押します。

テレビ関連情報のダウンロードが始まります。
しばらくお待ちください。

8 「はい」を選択します。

以降の画面は機種や状況により異なります。

1. (決定)を押して、「はい」の◯を◉にします。
2. 「次へ」が選択されていることを確認し、(決定)を押します。

9 お住まいの地域を選択します。

1. (十字キー)で最寄りの地域を選択し、(決定)を押します。
2. 「次へ」が選択されていることを確認し、(決定)を押します。

10 「テレビ信号の構成」の画面で「次へ」を選択し、(決定)を押します。

チャンネルの検出が始まります。
しばらくお待ちください。

11 「次へ」を選択し、(決定)を押します。

チャンネルが正常に検出できない場合は、「地上デジタル放送が映らない」(→P.41)をご覧ください。

12 「完了」を選択し、(決定)を押します。

13 (終了)を押して「Windows Media Center」を終了し、パソコンを再起動します。

これで初回設定は完了です。

Point 受信レベルのテスト

「Windows Media Center」では、デジタル放送の受信レベルをテストし、アンテナの角度が最適かどうか確認することができます。
「Windows Media Center」のメニュー画面→「Extras」→「アンテナレベル確認ツール」の順にクリックし、放送局を選択するとスキャンが始まって、受信レベルが表示されます。
受信レベルが60前後（またはそれ以上）になっていれば、アンテナの角度が最適の状態で、映像を正しく表示できます。なお、ここで表示される受信レベルの数値は、具体的な信号の強度を示すものではありません。

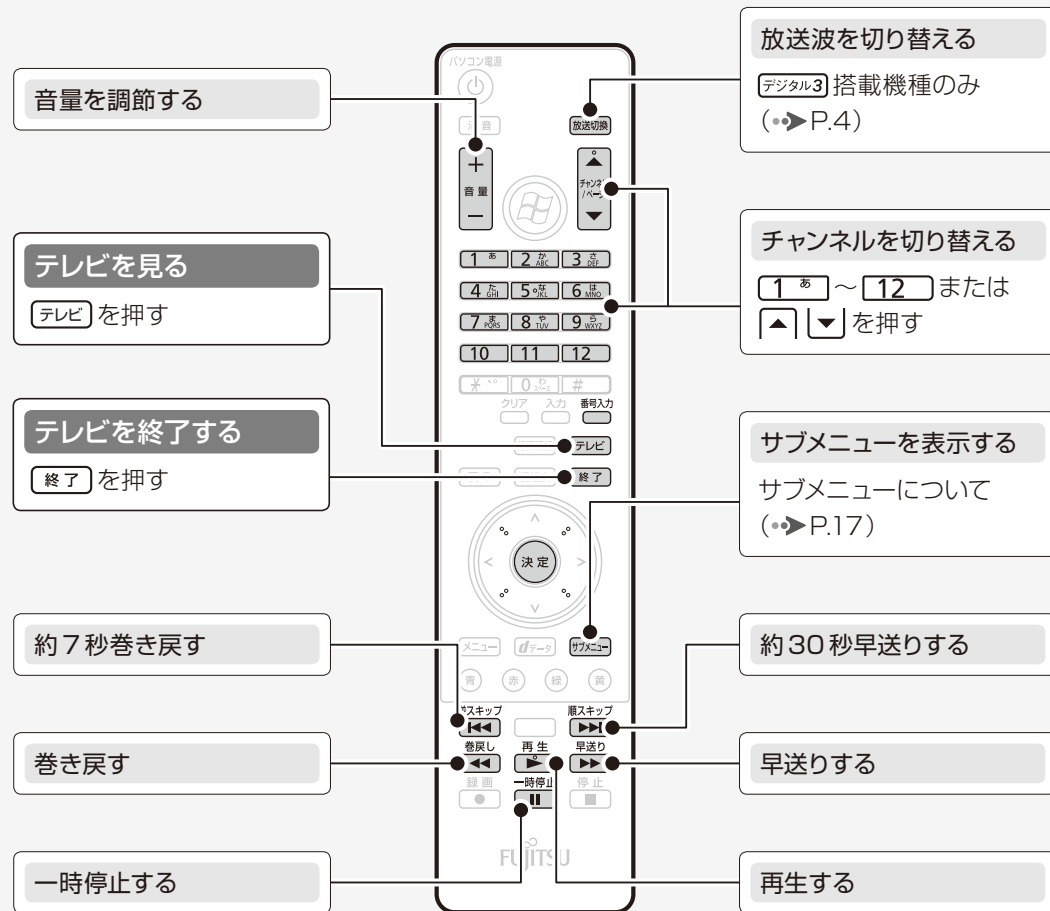
受信レベルが低い場合は、市販のアッテネーターを使用することで状態が改善されることがあります。

※「現在Media Centerがテレビチューナーを利用中のため、本ツールを利用できません。」というメッセージが表示され、スキャンができないときは、しばらくたってから再度実行してください。

テレビを見る

「Windows Media Center」のテレビ機能は、通常のテレビと同様に、リモコンで操作をすることができます。

マウスで操作するときは

マウスを使ってテレビ機能の操作をするときは、画面上に表示される操作パネルを使います。詳しくは、「マウスで操作する」(→P.16) をご覧ください。

タイムシフトモードとは

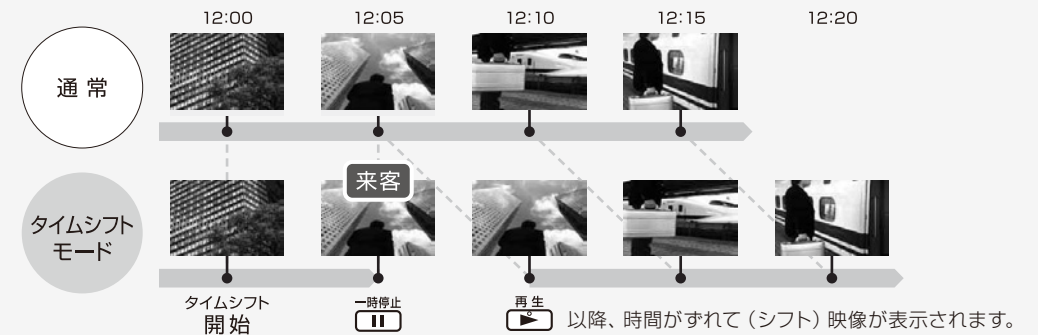
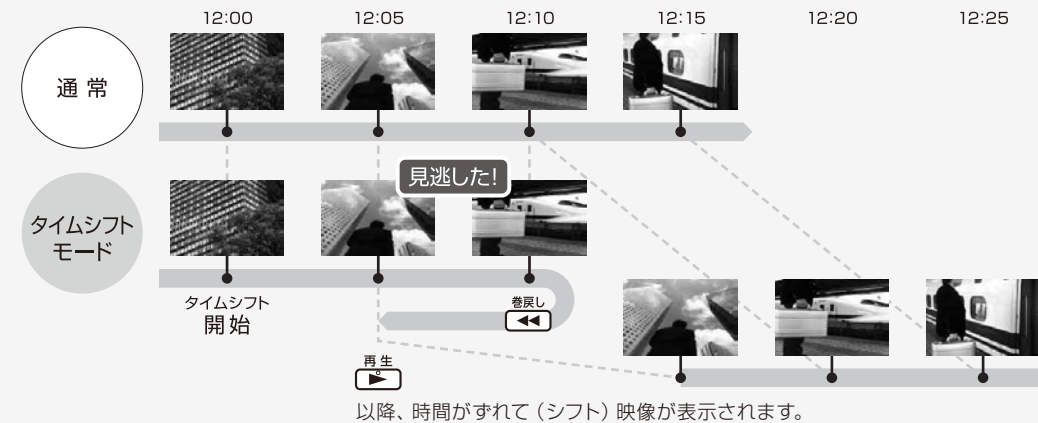
このパソコンは、放送中の映像を一時的に録画しながら表示する「タイムシフトモード」になっています。録画したデータを見ているので、録画番組を見ているときのように一時停止したり、巻き戻したりしてみることができます。

タイムシフトモードに関する注意

- チャンネルを切り替える前の映像を戻して見ることはできません。
- タイムシフト時間（現時点からさかのぼれる時間）は、最長40分です。

リモコンで操作する

タイムシフトモードの例

■一時停止・再開

■巻き戻し

マウスで操作する

マウスを使ってテレビを起動するときは、（スタート）→「すべてのプログラム」→「Windows Media Center」→「Media Center テレビ」→「テレビ視聴」の順にクリックします。テレビの視聴中にマウスを動かすと、操作パネルが表示されます。

サブメニューを使う

サブメニューとは ——— テレビ機能を使っているときに、すばやく必要な操作ができるメニューです。放映中のテレビ番組を見たり、録画番組を再生したり、番組表や録画番組の一覧を使ったりするときなど、いろいろな場面で使うことができます。

■サブメニューでできること

サブメニューでできる操作は、ご覧の番組や表示している画面によって異なります。

テレビ番組の視聴中（P.14）

- 番組の詳細情報を見る
- 録画などの操作をする
- 映像を拡大・縮小する
- 字幕の設定を変更する
- データ放送を見る

録画番組の再生中（P.28）

- 番組の詳細情報を見る
- シリーズ録画、削除などの操作をする
- 映像を拡大・縮小する
- データ放送を見る

番組表（P.20）

- 各番組の詳細情報を見る
- 各番組の録画、予約録画などの操作をする
- 番組を検索する
- 「Media Center テレビ」の設定を変更する

録画番組の一覧（P.28）

- 録画番組の詳細情報を見る
- 録画番組の再生、削除などの操作をする
- 録画番組をリストで表示する
- 「Media Center テレビ」の設定を変更する

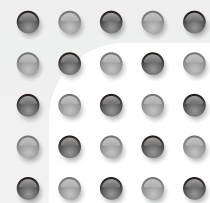
サブメニューの使い方

例）テレビを見ているとき

1. 視聴中の画面が表示されている状態で、サブメニュー を押します。
2. で項目を選択し、操作をします。
3. もう一度、サブメニュー を押すと、サブメニューが終了します。

サブメニュー

マウスでの操作

マウスで操作する場合は、各画面の何もボタンなどが表示されていないところで右クリックするとサブメニューが表示されます。

テレビ機能について

ここでは、「Windows Media Center」のテレビ機能をお使いになるときに知っておいていただきたいことを説明します。

電波の受信状態について

- 画像および音声の品質は、アンテナの電波受信状況により大きく左右されます。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が弱い場合や、室内アンテナをご利用の場合などは、受信状態が悪く、画質に影響が出ることがあります。この場合はご購入の販売店へ相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをお使いになる場合は、アンテナブースターのマニュアルをご覧ください。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が強すぎる場合は、受信レベルが飽和し、画質に影響が出ることがあります。この場合はご購入の販売店へ相談されるか、市販のアッテネーターをご購入ください。アッテネーターをお使いになる場合は、アッテネーターのマニュアルをご覧ください。

テレビの視聴や録画、再生などに関する注意

- テレビの視聴や録画には、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行うために、常にパソコンをインターネットに接続してください。また、パソコンの日付と時刻の設定が正しくないと、正常にライセンス認証が行えないので、日付と時刻の設定を確認してください。詳しくは、「パソコンの時刻合わせ」(→P.26)をご覧ください。
- 「Windows Media Center」は、他のソフトウェアと同時に使ったり、使用中にスクリーンセーバーを動作させたりしないでください。
  「Windows Media Center」をお使いのときに、「Windows Media Player(ウィンドウズメディアプレーヤー)」など他のソフトウェアやスクリーンセーバーが動作していると、音声が途切れる、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- テレビの視聴をしているときに、使用状況やシーンによっては、映像がスムーズに再生されない場合があります。
- 字幕対応番組を視聴中に「消音」にすると、自動的に字幕が表示されます。
- ダブル録画に対応している機種(→P.5)を除き、録画中に別番組を視聴することはできません。
- デジタル放送の5.1チャンネル音声は、次の場合に2チャンネルのステレオ音声に変換(ダウンミックス)されます。
  - パソコン本体のスピーカーから出力する場合
  - LIFEBOOKとデジタルテレビをHDMIケーブルで接続し、デジタルテレビのスピーカーから出力する場合
- 電源プランの設定は「省電力」にしないでください。映像がコマ落ちすることがあります。

その他の注意

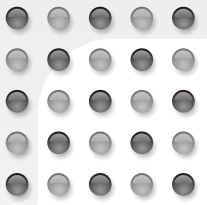
- 「Windows Media Center」の使用中に、画面の各種設定を変更しないでください。
  また、画面の解像度と発色数は、ご購入時の状態から変更せずにお使いください。ご購入時の設定から変更している場合はマウスを使って、デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューの「画面の解像度」をクリックして、設定し直してください。
  ご購入時の設定については、『取扱説明書』の「仕様一覧」を確認してください。
- 定期的にデフラグを実行してください。ハードディスクへの録画を頻繁に行うと、ハードディスク内のファイルが断片化され、ハードディスクへの読み書き速度が低下します。定期的なデフラグの実行をお勧めします。
- FH700/AN、FH550/ANでBS・110度CSデジタル放送を視聴する場合は、パソコンからBS・110度CSデジタル放送用アンテナへの電源を供給することができます(デジタル3 搭載機種のみ(→P.4))。「Windows Media Center」のメニュー画面から「Extras」→「BS・110度CSアンテナ電源の設定」→「受信時連動オン」の順に選択して (決定) を押してください。
  NH900/5AT、NH900/ANTは、パソコンからアンテナへ電源供給できません。詳しくは、「BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について」(→巻末)で確認してください。
- BS・110度CSデジタル放送を視聴する場合は、ご契約中の放送局からのお知らせを「Windows Media Center」内で確認することができます(デジタル3 搭載機種のみ(→P.4))。「Windows Media Center」のメニュー画面で「Extras」→「放送局からのお知らせ」の順に選択して (決定) を押し、「放送局からのお知らせ」画面で各タイトルを押して、お知らせの内容を確認してください。

データ放送を見る

データ放送とは ——— 番組の情報や、地域の天気予報や交通情報、最新のニュースなどの情報を見ることのできるサービスです。番組によっては、インターネットなどを介した双方向サービスを利用して、クイズに答えるなど、番組に参加することもできます。

■データ放送の見かた

データ放送の画面内では、リモコンを使って操作します。
マウスで操作をするときは、操作パネル(→P.16)を使用してください。

1. テレビ画面が表示されている状態で、(dデータ) を押します。
2. (上下左右)、(決定)、(青)、(赤)、(緑)、(黄) などのボタンで操作します。
3. もう一度 (dデータ) を押すと、データ放送が終了します。

番組表を使う

このパソコンには、放送波からテレビ番組の情報を取得し、表示するための電子番組表が用意されています。

番組表を使うと、次のことができます。
- ●番組表を見る
- ●番組を探す
- ●番組表で予約録画する（予約録画の方法については、「予約録画をする」（→P.26）をご覧ください。）

BS･110度CSデジタル放送用のテレビチューナー搭載機種（→P.4）で、BS･110度CSデジタル放送の視聴ができる場合のみ、BS･110度CSデジタル放送の番組表が利用できます。
- ・番組データは自動的に受信されますが、受信に時間がかかる場合があります。
- ・番組表には、取得できたチャンネルの番組のみ表示されます。
- ・番組表には、過去7日以内に選局したことがあるチャンネルの番組が表示されます。「番組データがありません」というメッセージが表示された場合は、いったん番組表に表示したいチャンネルを視聴した後、番組表を表示してください。

■マウスを使って番組表を表示する

●マウスを使って番組表を表示するときは、操作パネル（→P.16）を使って操作します。

を1回クリック	画面下部に番組表が表示されます。
を2回クリック	全画面で番組表が表示されます。
を3回クリック	番組表を終了します。

●別の放送波の番組表を表示する場合は、番組表の左端の「放送波の表示」をクリックし、表示したい放送波を選択します（デジタル3 搭載機種（→P.4）のみ）。

番組表の操作

放送波を切り替える
デジタル3 搭載機種のみ（→P.4）

番組を選択する
の上下左右を押して選択します。

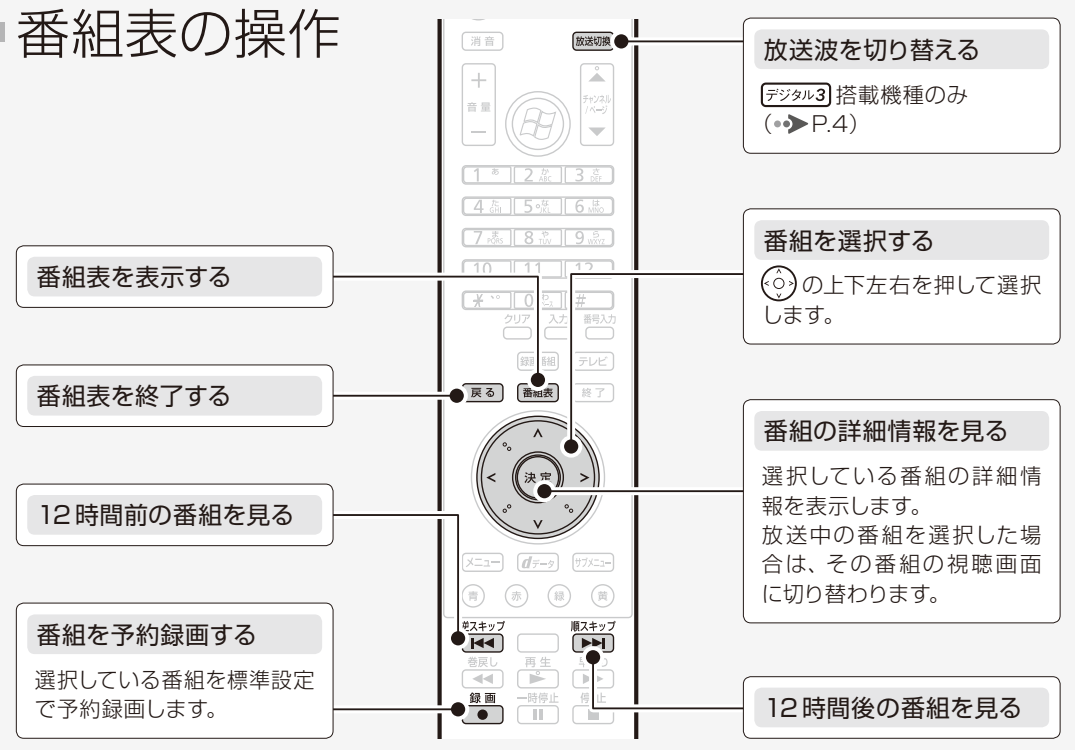
番組の詳細情報を見る
選択している番組の詳細情報を表示します。
放送中の番組を選択した場合は、その番組の視聴画面に切り替わります。

12時間後の番組を見る

番組表を表示する

番組表を終了する

12時間前の番組を見る

番組を予約録画する
選択している番組を標準設定で予約録画します。

番組を探す

番組のジャンルやタイトルなどから見たい番組を探すことができます。

1. を押します。
2. で「Media Center テレビ」→「番組検索」を選択し、(決定)を押します。
3. で何をキーに検索するかを選択し、(決定)を押します。
4. や文字ボタンで番組を探します。
5. 予約を行う場合は、予約したい番組を選択し、録画ボタンを押します。予約についての詳細は、「予約録画をする」（→P.26）をご覧ください。

録画の準備をする

ここでは、テレビ番組を録画するときに注意していただきたいことを説明します。

本体に AC アダプタを取り付けてください

●LIFEBOOK をお使いの場合、パソコン本体に AC アダプタを接続し、AC アダプタの電源プラグをコンセントに接続してください。バッテリ残量が約 10% 以下になると、パソコン本体が自動的に休止状態になるため、録画が失敗したり予約録画が中断されたりする原因となります。

録画するときはこんなことに気をつけてください

●ウイルススキャンを行わないでください
テレビの録画中にウイルススキャンが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。予約録画を行う場合は、同じ時間帯に自動スキャン機能が動作しないよう注意してください。

参照 自動スキャン設定
『取扱説明書』→「セットアップする」→「セキュリティ対策ソフトの準備をする」

●周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください
テレビ番組の録画中、または予約録画の待機中のときは、周辺機器の取り付け／取り外しや、メモリーカードの抜き差しなどをしないでください。録画に失敗する原因となります。

●シャットダウンや再起動をしたり、スリープや休止状態にしたりしないでください
録画中にパソコンをシャットダウン・再起動したり、スリープ・休止状態にしたりしないでください。録画が失敗する原因となります。

●視聴中の別番組録画について
ダブル録画に対応している機種（→P.5）の場合は、一方のテレビチューナーでテレビを視聴しているときでも、もう一方のテレビチューナーで別の番組を録画することができます。それ以外の機種では、視聴中の番組のみ録画することができます。

外付けハードディスクをお使いになる場合

●外付けハードディスクの使用については、「外付けハードディスクを使う」（→P.38）をご覧ください。

予約録画をする前に確認してください

●パソコンの電源を切らないでください
パソコンの電源が入っていないと、予約録画ができません。予約録画の設定後、パソコンを使用しないときは、電源を切らずにスリープか休止状態にしてください。

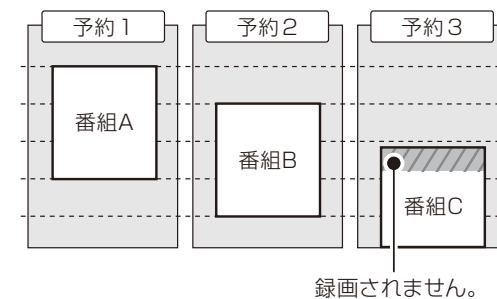
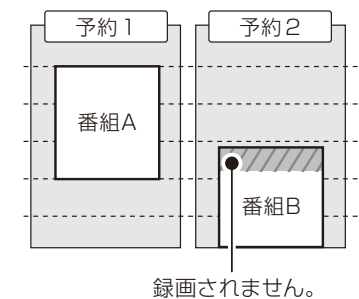
●LIFEBOOK をお使いの場合、液晶ディスプレイを閉じないでください
放熱が妨げられるため、故障の原因となります。

●スリープになるまでの時間を変更しないでください
予約録画をするときは、コンピューターがスリープになるまでの時間をご購入時の設定から変更しないでください。ご購入時の設定から変更している場合は、（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「電源オプション」の順にクリックします。「バランス（推奨）」の をクリックして にしてから、ウィンドウ左の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をクリックして表示される画面で、「このプランの設定を復元」をクリックしてください。
変更した場合、予約録画に失敗することがありますので注意してください。

●ダブル録画に対応している機種（→P.5）の場合
予約録画の開始時間に他の番組を録画していたり、テレビを視聴していたりすると、ダブルチューナーのうちの空いているほうが自動的に使用されます。

予約録画が重複した場合

●ダブル録画に対応している機種（→P.5）では、予約録画が２つ重なっていても正常に録画が行われます。予約録画が３つ以上重なっている場合に、最も開始時刻の遅い番組の、重複している時間帯が録画されません。それ以外の機種では、予約録画が２つ重なっている場合、開始時刻が早いほうの番組が優先され、遅いほうは重複する時間帯が録画されません。詳しくは、マイクロソフト株式会社の Web ページ（http://support.microsoft.com/kb/967652/ja/）をご覧ください。

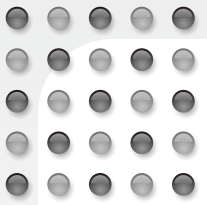
例）ダブル録画対応機種

例）それ以外の機種

録画したデジタル放送番組に関する注意

●ハードディスクにある録画データは、他のパソコンなどにコピーまたは移動して再生できません。録画したパソコンでのみ再生可能です。なお、録画したパソコンでも、ハードディスクにある録画データをエクスプローラーで、コピーまたは移動しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

●移動（ムーブ）（→P.30）を実行した録画番組は、バックアップしておいたファイルを元の場所に戻しても、再生することはできません。

●HDMI 接続で他のディスプレイに表示した場合は、ディスプレイの仕様によってはハイビジョン表示にならないことがあります。

●このパソコンで録画すると、パソコンとテレビチューナー固有の ID を使って、録画番組が暗号化されます。著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。万一なんらかの不具合が起きて、番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●ご購入時の設定では、ハードディスクの空き容量が少なくなると、古い録画日時の番組から順次自動的に削除されます。この設定は、「録画の既定値」の「保存」で変更することができます。変更方法は、「録画の設定をする」（→P.24）をご覧ください。

テレビ番組を録画する

録画を始める前に、お好みにあわせて録画の設定を行い、保存しておくと便利です。
設定できる項目は次のとおりです。

録画に必要なハードディスク容量

録画には、ハードディスクに充分な空き容量が必要です。録画前に確認してください。

放送番組の種別	1時間分の録画データを保存するためのハードディスク容量
ハイビジョン（HD）放送	約7650MB（約7.6GB）
標準（SD）放送	約3600MB（約3.6GB）

設定項目 [録画全般についての既定値]

保存	録画番組のデータを保存する期間を選択します。（初期値：領域が足りなくなるまで）
録画開始	予約の何分前から録画を開始するかを選択します。（初期値：2分前）
録画終了	予約の何分後まで録画するかを選択します。（初期値：3分後）
優先する音声の言語	録画する音声を選択します。（初期値：番組の元の言語）

シリーズ録画（→P.27）に関する設定項目 [シリーズ録画のみの既定値]

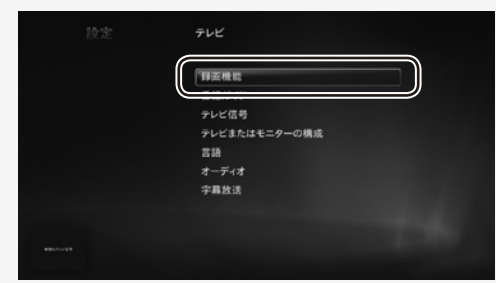
番組の種類	再放送の番組を録画するかなどを選択します。（初期値：新規と再放送）
チャンネル	複数チャンネルで放送される番組について、他チャンネルの放送も録画するかを選択します。（初期値：1つのチャンネルのみ）
放送時刻	特定の時間帯のみ録画するか選択します。（初期値：時間指定なし）
保存する回数	そのシリーズの番組を保存する数を選択します。（初期値：可能な限り）

録画の設定をする

「録画全般についての既定値」や「シリーズ録画のみの既定値」を設定します。

1. （スタート）を押します。
2. （方向）で「タスク」→「設定」を選択し、（決定）を押します。

3. （方向）で「テレビ」を選択し、（決定）を押します。

4. （方向）で「録画機能」を選択し、（決定）を押します。

5. （方向）で「録画の既定値」を選択し、（決定）を押します。
6. （方向）で設定したい項目を選択して（決定）を押し、お好みで設定を変更します。

   ※画面を下にスクロールすると「シリーズ録画のみの既定値」が表示されます。

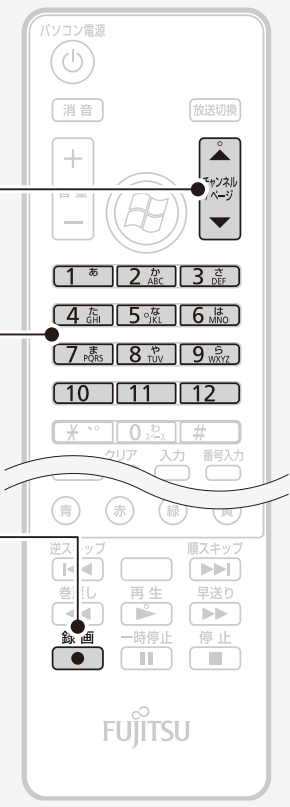
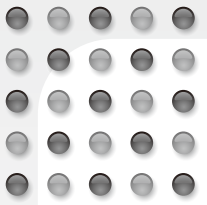
7. 設定が終わったら、（方向）で「保存」を選択し、（決定）を押します。

見ている番組を録画する

現在見ているテレビ番組やチャンネル切り替えをしながら偶然みつけた番組を録画したいときは、簡単な操作ですぐに録画を開始できます。

1. 録画したいチャンネルに切り替えます。
2. 録画を始める場合は、（録画）を押します。

   もう一度押すと、シリーズ録画になります。

   さらにもう一度押すと、録画を停止します。

予約録画をする

予約録画の方法を説明します。なお、予約録画を行う前に、必要に応じて録画についての設定を変更してください（P.24）。

パソコンの時刻合わせ

パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。
時刻を合わせるときはマウスを使い、（スタート）→「コントロールパネル」→「時計、言語、および地域」→「日付と時刻の設定」の順にクリックします。設定方法について、詳しくは「日付と時刻」の画面で「時計とタイムゾーンの設定方法」をクリックし、表示される説明をご覧ください。

シリーズ録画について

シリーズ録画をすると、毎週放送される番組などを一度に予約することができます。ただし、番組のジャンルに「映画」が入っている場合シリーズ録画はできません。シリーズ録画の設定変更については、「録画の設定をする」（P.24）をご覧ください。

番組表で予約する

■設定（既定値）どおりに録画する

指定した番組を、設定したとおりに（P.24）録画する方法です。

1. 番組表 を押します。
2. で予約したい番組を選択し、録画 を押します。

もう一度 録画 を押すと、シリーズ録画になります。

番組の検索方法など、番組表の使い方については、「番組表を使う」（P.20）をご覧ください。

予約が完了すると、番組表の該当番組に が表示されます。

■設定を変更して録画する

1. 番組表 を押します。
2. で予約したい番組を選択し、決定 を押します。
3. を押します。
4. で「録画の詳細設定」を選択し、決定 を押します。

5. 各種設定を変更した後、「録画」を選択し、決定 を押します。

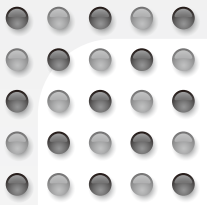
■予約録画を変更する

1. 番組表 を押します。
2. で （シリーズ録画の場合は ）が付いている番組を選択し、決定 を押します。
3. を押します。

4. 変更したい項目を選択し、設定を変更します。

■予約録画を取り消す

1. 番組表 を押します。
2. で （シリーズ録画の場合は ）が付いている番組を選択し、決定 を押します。
3. を押します。

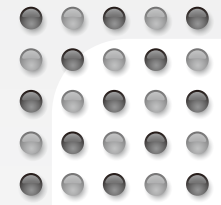
4. で「録画しない」または「シリーズ録画の取り消し」を選択し、決定 を押します。

録画番組を再生する

ここでは、ハードディスクに録画したテレビ番組を再生する操作について説明しています。

録画した番組を再生するときの注意

- このパソコンで録画すると、パソコンとテレビチューナー固有のID を使って、録画番組が暗号化されます。著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。
  万一なんらかの不具合が起きて、番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ネットワークを経由し、録画番組を他の機器で再生することはできません。

再生する

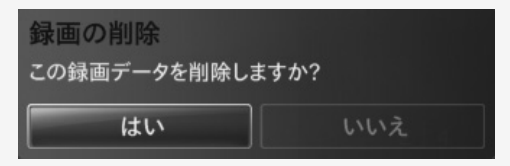
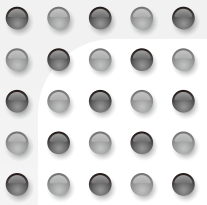
1. 録画番組 を押します。
2. で見たい番組を選択し、決定 を押します。
3. で「再生」を選択し、決定 を押します。
   番組の再生が始まります。再生中の操作については、「リモコンで操作する」(P.14)をご覧ください。
4. 番組の再生を終える場合は、停止 を押します。
   再生した番組の概要画面に戻ります。

録画番組を削除する

ここでは、ハードディスク内の録画番組を削除する操作について説明します。

録画番組を削除すると、元に戻すことはできません。録画番組を保存したい場合は、「録画番組をディスクに保存する」(P.30) をご覧になり、ディスクに保存してください。

削除する

1. 録画番組 を押します。
   録画したテレビ番組の一覧が表示されます。
2. で削除したい録画番組を選択し、決定 を押します。

3. で「削除」を選択し、決定 を押します。
4. で「はい」を選択し、決定 を押します。
   録画番組が削除されます。

録画番組をディスクに保存する

ハードディスクに録画したテレビ番組は、「Windows Media Center」を使ってディスクに保存できます。ここでは、録画番組をディスクに保存する操作について説明しています。

インターネットに接続してください

ディスクに保存するには、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行うために、常にパソコンをインターネットに接続してください。

AACSキーを更新してお使いください（Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ）

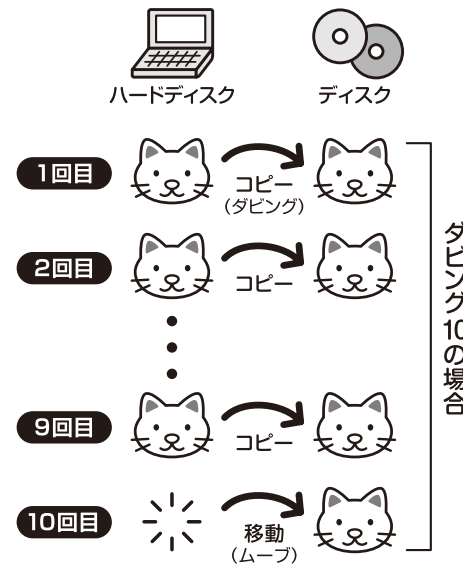
Blu-ray Discへ録画データを保存する場合は、AACS（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって、データが暗号化されます。暗号化されるときには、「AACS キー」という電子データが働きます。パソコンに入っているAACSキーには有効期限が設けられているため、定期的に更新する必要があります。更新する方法について詳しくは、インターネットに接続して次のURLをご覧ください。

http://www.fmworld.net/aacs/esprimo/（ESPRIMOの場合）
http://www.fmworld.net/aacs/lifebook/（LIFEBOOKの場合）

ダビングについて

ハードディスクに録画番組を残したまま、DVDまたはBlu-ray Discに録画番組のデータをコピー（バックアップ）することを「ダビング」といいます。

■ダビングの特徴

● ダビングができる回数は、録画番組によって異なります。
ディスクへのダビングができる回数は、録画番組に含まれているコピー制御信号の種類によって異なります。
「ダビング10」という信号が含まれている番組の場合は、最大９回までデータをディスクにコピーすることができ、10回目にデータをディスクに保存すると、データがハードディスクから移動（ムーブ）して削除されます。
このほか、一度ディスクにデータを保存するとハードディスクから削除される番組（コピーワンス）や、何度でもディスクにコピーすることのできる番組（コピーフリー）もあります。

● 録画番組をCPRM対応ディスクに保存できます。
録画番組をCPRM対応ディスクに保存すると、「WinDVD」またはCPRM対応DVDプレーヤーで再生することができます。（なお、CPRM対応のDVDプレーヤーであっても再生できない場合がありますが、これはパソコンの故障ではありません。）
また、Blu-ray Discに保存した録画番組は、「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種の場合は「PowerDVD」）またはBlu-ray Discに対応したプレーヤーで再生することができます（Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ）。

ダビングをするときの注意事項

- 他のソフトウェアを起動または操作しないでください。
- ダビング中は番組の視聴、録画や録画番組の再生ができません。
  また、番組の視聴中や録画番組の再生中にダビングを始めると、視聴・再生していた番組の映像が見えなくなり、音声だけが聞こえる状態になります。音声を停止したい場合は［停止］を押してください。
- 大切な録画番組のデータをディスクに保存する前に、テスト用の録画番組のデータをディスクに保存し、お手持ちの機器で再生可能か確認してください。
- 録画番組を保存するディスクにデータが入っているとき、ディスクのフォーマットを行うとすべてのデータが削除されます。データを削除したくない場合は、フォーマットをせずに追記するか、新しいディスクを用意してください。
- DVD-RAMに録画番組のデータを追記する場合、ディスクに録画番組以外のデータが入っていると、追記ができません。ディスクに入っているデータが録画番組だけの場合には追記が可能です。
- ディスクの作成時間は録画番組の再生時間よりも長くなる場合があります。
- ダビングの正確な書き込み回数はマイクロソフト社のサーバーで管理されています。録画番組一覧に表示される、残りの書き込み回数はあくまで目安です。
- 「ダビング10」に対応した番組のダビング途中で失敗・キャンセルした場合は、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、ダビング可能回数が1回減ります。
- 録画番組のデータをハードディスクからディスクに移動（ムーブ）しているときに、停電などによる電源断など不慮の事故や強制シャットダウンによってパソコン本体が停止したり、記録しているディスクの傷や汚れによって書き込みが中断したりした場合、移動（ムーブ）を実行していた録画番組のデータはハードディスクから一部、またはすべてが削除されることがあります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを再生できなくなることがありますのでご注意ください。

対応するディスク

対応するディスクには、DVDとBlu-ray Discがあります。Blu-ray Discは、Blu-ray Discドライブを搭載した機種（••➤P.4）で使用できます。
このパソコンの推奨ディスクについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照 推奨ディスク
『取扱説明書』

DVD※

DVD-R　DVD-R DL　DVD-RW　DVD-RAM

※CPRM（Content Protection for Recordable Media）対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAMに保存できます。

- DVD-R、DVD-R DLは、1回のみデータを書き込めます。書き込んだデータの削除や書き換えはできません。また、録画データを保存したDVD-R、DVD-R DLに、データは追記できません。
- DVD-RW、DVD-RAMは、書き込んだデータの削除や書き換えが可能です。データが不要になったら削除して、別のデータの保存に使えます。
- CPRM対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAMに保存したテレビ番組は、「WinDVD」またはCPRM対応のDVDに対応したプレーヤーで再生できます。
  なお、CPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーであっても再生できない場合がありますが、このパソコンの故障ではありません。
- DVD-RAMは、カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをご購入ください。
  カートリッジに入れた状態で使用するタイプ（Type1）は使用できません。また、カートリッジからディスクを無理に取り出して使わないでください。
- DVDに保存する場合、保存操作中に「高画質（XP）」「標準画質（SP）」「長時間（LP）」の3つの記録モードを選択できます。記録モードごとの記録時間の目安は、次のとおりです。

記録モード	DVD-R/DVD-RW/DVD-RAM 注1（約4.7GB）	DVD-R DL（約8.5GB）
高画質（XP）	約1時間	約2時間
標準画質（SP）	約2時間	約3時間30分
長時間（LP）	約4時間	約7時間30分

注1：DVD-RAMの片面ディスクです。

Blu-ray Disc

BD-R　BD-R DL　BD-RE　BD-RE DL

- 大容量のデータ保存が可能です。
  地上デジタル放送やハイビジョン（HD）放送などの保存に適しています。
- BD-R、BD-R DLは、1回のみデータを書き込めます。書き込んだデータの削除や書き換えはできません。
- BD-RE、BD-RE DLは、書き込んだデータの削除や書き換えが可能です。
  データが不要になったら削除して、別のデータの保存に使えます。
- Blu-ray Discに保存したテレビ番組は、「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種の場合は「PowerDVD」）で再生できます。
- このパソコンは、BD-RE Ver1.0に対応していません。
- BD-R LTH Type（記録層に有機色素材料が使用されているBD-R）に対応しています。
- Blu-ray Discの記録時間の目安は次のとおりです。

放送番組の種別		BD-R/BD-RE（約25GB）	BD-R DL/BD-RE DL（約50GB）
地上デジタル放送	ハイビジョン（HD）放送	約3時間	約6時間
	標準（SD）放送	約4時間30分	約9時間
BSデジタル放送		約2時間10分	約4時間20分
110度CSデジタル放送		約3時間	約6時間

作成されるディスクの状態

録画番組をディスクに保存すると、次の状態でディスクが作成されます。

＊：ディスクに保存したときに、ハードディスク上にある録画番組のデータから変換や削除される項目

	DVD	Blu-ray Disc
フォーマット形式	DVD-VR	BDAV2.0
ハイビジョン（HD）放送の録画画質	標準（SD）に変換＊	ハイビジョン（HD）
データ放送のデータ 注1	削除＊	削除＊
番組情報のデータ 注1	削除＊	削除＊
字幕放送のデータ 注1	削除＊	削除＊
副音声	音声1のみ保存＊	保存 注2
5.1チャンネルの音声	2チャンネルに変換＊	保存

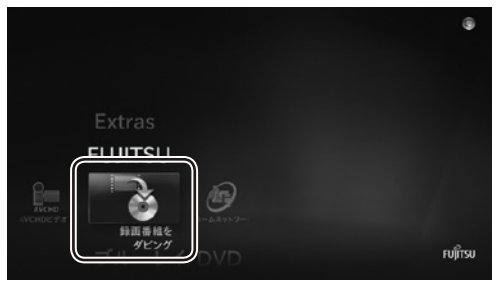
注1：ディスク上に、データ放送、番組情報のデータが保存されていても、「WinDVD」または「PowerDVD」では表示されません。
注2：副音声には、番組によって2種類の形式があります。
二重音声放送（主・副音声のみ）の番組の場合、すべての音声が保存されます。
マルチ音声放送（3つ以上の音声を含むことが可能）の番組の場合、音声1のみ保存されます。

ダビングする

作業の前に、パソコンがインターネットに接続されているかどうか確認してください。
インターネットに接続されていないと、書き込みが正常に行われません。

1 **ディスクをパソコン本体にセットします。**

2 **を押します。**

3 **で「FUJITSU」→「録画番組をダビング」を選択し、を押します。**

4 **初めてダビングする場合は、次のような画面が表示されます。**

End User Notices

(C)2009 Corel Corporation. All Rights Reserved.
本製品には、Microsoft PlayReady(TM)テクノロジーが含まれます。以下をご参照ください。

コンテンツの所有者は、その知的所有権（著作権で保護されたコンテンツを含む）の保護のために、Microsoft PlayReady(TM)コンテンツアクセステクノロジーを使用しています。本ソフトウェアは、PlayReadyにより保護されたコンテンツへアクセスするために、PlayReadyテクノロジーを使用しています。本ソフトウェアがコンテンツの使用について適切な制限を課すことができない場合、コンテンツ所有者は、マイクロソフトに対して、本ソフトウェアがPlayReadyにより保護されたコンテンツを利用する機能を無効にするように要求することができます。機能の無効化は、保護されていないコンテンツや他のコンテンツアクセステクノロジーにより保護されたコンテンツには影響しません。コンテンツ所有者は、コンテンツへアクセスするためにPlayReadyをアップグレードすることをあなたに要求することができます。もしあなたがアップグレードを拒否する場合、あなたは当該アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスができなくなります。

OK

画面が表示されたら、内容を確認し、「OK」が選択されていることを確認して、を押します。

5 **録画番組の一覧から、でディスクに保存したい番組を選択し、を押します。**

各番組のダビング可能回数（目安）が表示されます。
で「タイトル」か「録画日時」を選択し、を押すと、録画番組を並べ変えることができます。

6 **書き込みをするディスクの種類（フォーマット）を選択します。**

※画面は機種や状況により異なります。

1. でディスクの種類を選択します。
   ディスクの必要枚数が、目安として表示されます。
2. を押し、を にします。
3. 「次へ」が選択されていることを確認し、を押します。

7 **書き込みをするディスクが入っているドライブを選択します。**

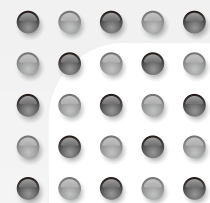
1. でドライブを選択します。
2. を押し、を にします。
3. 「次へ」が選択されていることを確認し、を押します。

8 **ディスクにすでにデータが入っている場合は、「ディスクをフォーマットし、次へ進みますか?」というメッセージが表示されます。ディスクをフォーマット（初期化）する場合は で「はい」を選択し、を押します。**

データを追記したい場合はで「いいえ」を選択し、を押します。使用ディスクがDVD-R、DVD-R DL、BD-R、BD-R DLの場合は表示されません。

9 **書き込みに必要なディスクの枚数を確認します。**
で「はい」を選択し、を押します。

ディスクの空き容量などによって、手順6で表示された必要枚数とは異なる場合があります。

10 **で「はい」を選択し、を押します。**

ディスクに保存した録画番組を再生する

ここでは、ディスクに保存した録画番組を再生する操作について説明します。ディスクに保存した録画番組を再生するには、添付のソフトウェア「WinDVD」が必要です。
「WinDVD」については、「WinDVD」の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

ディスクを再生するときの注意

- 保存した録画番組に、データ放送、番組情報のデータが含まれていても、「WinDVD」では表示されません。
- 動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。
  お使いになるディスクのタイトルによっては、動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。
- ディスクを再生する前に、他のソフトウェアを終了させてください。また、再生中は他のソフトウェアの起動や他の操作は行わないでください。パソコンのCPU やハードディスクに負荷がかかるため、ディスクが正しく再生されない原因となります。
- ディスクの再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。
- 3D対応ディスプレイ搭載機種でBlu-ray Discを再生する場合は、「WinDVD」ではなく「PowerDVD」を使用して再生します。使用方法については、「PowerDVD」のヘルプをご覧ください。
- 「WinDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。
  このパソコンには、ディスクを再生するソフトウェア「WinDVD」が用意されています。より快適にディスクを視聴するために、「WinDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。「WinDVD」を更新するには、「アップデートナビ」を実行してください。「アップデートナビ」の実行方法については、次のマニュアルをご覧ください。

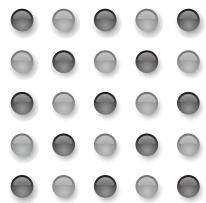
参照 アップデートナビを実行する
『取扱説明書』

- 「Windows Media Center」で録画している間は、ディスクを再生しないでください。
  ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- ディスクの再生は、予約録画が設定されていない時間帯に行ってください。
  ディスクの再生中にテレビ番組の予約録画が開始されると、ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- このパソコンのAACSキーを更新してお使いください（Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ）。
  Blu-ray Disc内の録画データは、AACS（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって暗号化されています。暗号化されたデータを再生するときには、「AACSキー」という電子データが働きます。パソコンに入っているAACSキーには有効期限が設けられているため、定期的に更新する必要があります。更新する方法について詳しくは、インターネットに接続して次のURLをご覧ください。
  http://www.fmworld.net/aacs/esprimo/（ESPRIMOの場合）
  http://www.fmworld.net/aacs/lifebook/（LIFEBOOKの場合）

ディスクに保存した録画番組の再生

1. ディスクをパソコン本体にセットします。
   「自動再生」ウィンドウが表示されます。
2. 「***ビデオの再生 - Corel WinDVD 使用」をクリックします。
   「***」には、DVD の場合は「DVD」が、Blu-ray Disc の場合は「BDDVD」が表示されます。
   ディスクの再生が始まります。

Point 「マイフォト」の画面が表示されたら

ディスクをセットすると「マイフォト」が起動することがあります。この場合は、「マイフォト」の画面で「閉じる」をクリックし、画面を閉じます。
（スタート）→「すべてのプログラム」→「Corel」→「Corel WinDVD」をクリックすると「WinDVD」が起動し、ディスクの再生が始まります。

外付けハードディスクを使う

このパソコンでは、USB接続した外付けハードディスクに、テレビ番組を直接録画することができます。また、外付けハードディスクにある録画番組は、そのままディスクに保存することもできます。ここでは外付けハードディスクを使うときの準備や、注意事項を説明します。

外付けハードディスクに録画するときの注意

- NTFS形式に初期化（フォーマット）されたUSB2.0以上対応のハードディスクのみ、使用することができます。
- 外付けハードディスクは本体に直接接続してください。USBハブ経由で接続した場合、録画に失敗するなどの問題が発生することがあります。
- 録画を開始する前に、外付けハードディスクが使用可能な状態になっているかどうか確認してください。指定したドライブが録画開始時に使用可能な状態になっていないと、録画ができません。

外付けハードディスクの録画番組をディスクに保存するときの注意

- ディスクに保存する作業をする前に、外付けハードディスクが使用可能な状態になっているかどうか確認してください。使用可能な状態になっていないと、ディスクへの保存ができません。

外付けハードディスクを取り外すときの注意

- 「Windows Media Center」を終了しても、「このデバイスは現在使用中です」とエラー表示され、外付けハードディスクが取り外せない場合があります。この場合は、数分待ってから再度操作してください。

録画の準備をする

ご購入時の状態では、録画番組は内蔵ハードディスクに保存されます。USB接続した外付けハードディスクに直接録画するときは、録画の前に次の手順で録画番組の保存先を変更してください。

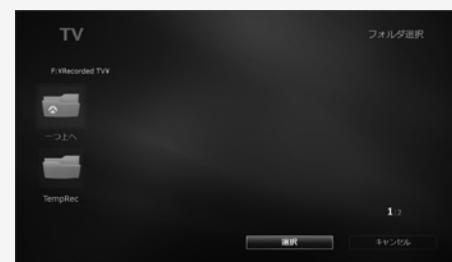
1. (スタートボタン)を押します。
2. (方向ボタン)で「タスク」→「設定」→「テレビ」→「録画機能」→「番組の保存領域設定」を選択し、(決定)を押します。
3. (方向ボタン)で「録画するドライブ」の + − を選択し、(決定)を押してドライブを切り換え、外付けハードディスクを選択します。

4. 必要に応じて「録画用領域（サイズ）」の + − を押し、外付けハードディスクの録画用領域をお好みのサイズに変更します。
5. 設定が終わったら、(方向ボタン)で「保存」を選択し、(決定)を押します。

この設定をした後に録画をすると、録画番組は外付けハードディスクに保存されます。録画の手順について、詳しくは「テレビ番組を録画する」(→P.24)をご覧ください。

ディスクに保存する準備をする

外付けハードディスクの録画番組をディスクに保存するときは、次の手順で録画番組を一覧に表示させる必要があります。マウスまたはフラットポイントを使って操作してください。

1. 「録画の準備をする」(→P.38)の設定を行ったあと、パソコンを再起動します。
2. (スタート)→「すべてのプログラム」→「Windows Media Center」→「FUJITSU」→「録画番組をダビング」の順にクリックします。
3. 画面の何もないところを右クリックし、「フォルダ選択」→「一つ上へ」→「一つ上へ」→「(使用するドライブ名)」→「Recorded TV」→「選択」の順にクリックします。

「録画番組をダビング」の一覧に外付けハードディスク内の録画番組が表示され、ディスクに保存することができるようになります。ディスクへの保存について、詳しくは「ダビングする」(→P.34)をご覧ください。

困ったときのQ&A

パソコンのテレビ機能についてのQ&Aをまとめています。

点灯したままの点や黒い点が画面に表示される

液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。有効ドット数[注]の割合は99.99%以上です。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

注：有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイが表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。

番組によって映像の周りに黒い部分があります

アナログ標準放送用カメラやアナログハイビジョン放送用カメラで作成された番組の場合、映像の周囲に黒い部分が表示されることがあります。これはパソコンの故障ではありませんので、そのままお使いください。

画面が表示されない

電源ランプが消灯している場合、次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
ACケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 参照 初めて電源を入れる 『取扱説明書』
電源が入っていない	電源を入れてください。 参照 電源を入れる／切る 『取扱説明書』
「おやすみディスプレイ」機能を使用している（ESPRIMO FHシリーズをお使いの方）	キーボードのキーを押して、画面が表示されるかどうか確認してください。 画面オフボタンを押した状態になっている場合は、もう一度画面オフボタンを押すと画面が表示されます。
画面オフボタンを押した状態にしている（ESPRIMO FHシリーズをお使いの方）	
「電源オプション」の電源プランに従ってディスプレイの電源が切れている	キーボードのキーを押して、画面が表示されるかどうか確認してください。

DVDが再生できない、DVDの画像が乱れる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
ディスクが裏返しになっている	ディスクの表裏を確認してください。
ディスクが汚れている	ディスクのデータ面を柔らかい布できれいに拭いてください。
ディスクに傷がある ディスクが反っている	傷ついたディスク、反ったディスクは使用できません。 他のディスクをお使いください。
ファイナライズされていない	書き込みに使う機器やソフトウェアの種類によって、互換性に違いがあります。VRフォーマットで記録されたDVDディスクは、このパソコンでは再生できない場合があります。VRフォーマットで記録されたDVDディスクが再生できない場合は、ディスクの「ファイナライズ」を行うことで、再生できるようになる場合があります。ファイナライズの方法については、書き込みに使用した機器やソフトウェアのマニュアルなどをご確認ください。

Blu-ray Discが再生できない Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ（→P.4）

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
「WinDVD」以外のソフトウェアで再生しようとした	Blu-ray Discを再生する場合は、「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種の場合は「PowerDVD」）でご覧ください。

地上デジタル放送が映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。 参照 アンテナケーブルを接続する 『取扱説明書』
お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアではない	お住まいの地域に地上デジタル放送が開局していない場合は、地上デジタル放送が映りません。地上デジタル放送の放送エリアを確認するには、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2010年4月現在）をご覧ください。なお、サービスエリア内であっても、地形やビルなどによって電波がさえぎられる場合や電波が弱い場合などの理由により、視聴できないことがあります。
地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナを使用していない	地上デジタル放送対応のUHFアンテナを接続してください。 参照 アンテナケーブルを接続する 『取扱説明書』

原　因	対　処
B-CASカードが正しくセットされていない	B-CASカードが正しくセットされていないと、地上デジタル放送を見ることができません。次のマニュアルをご覧になり、B-CASカードを正しくセットしてください。 参照 **B-CASカードをセットする** 『取扱説明書』
ケーブルテレビの伝送方式が対応していない	ケーブルテレビで地上デジタル放送をご利用になる場合、ケーブルテレビ会社によりデータの伝送方式が異なります。このパソコンが対応している伝送方式は、同一周波数パススルー方式と周波数変換パススルー方式です。 伝送方式をご契約のケーブルテレビ会社にご確認ください。
チャンネル設定が地域と合っていない	お住まいの地域と一致した設定になっていることを確認してください。
インターネットに接続していない	テレビの視聴や録画には、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行うために、パソコンをインターネットに接続してください。
パソコンの日付と時刻の設定が正しく設定されていない	パソコンの日付と時刻の設定が正しくないと、正常にライセンス認証が行えないので、日付と時刻の設定を確認してください。詳しくは、「パソコンの時刻合わせ」（→P.26）をご覧ください。

地上デジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
UHFアンテナの向きが違う	デジタル放送の送信塔の方向が現在のアナログ放送と異なる場合は、アンテナの向きを変えてください。
アンテナケーブル、またはアンテナ変換ケーブルの接続がゆるい	アンテナケーブルまたはアンテナ変換ケーブルが、しっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルはノイズの入りにくいネジ式F型コネクタのものをお使いください。
分配器を使用していることで電波が弱くなっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。
分波器を使用していない（デジタル1 搭載機種（→P.4）をお使いの方）	BS・110度CSデジタル放送とアンテナ線が混合している環境の場合は、分波器をお使いください。
他のソフトウェアが動作中	次の例のように、他のソフトウェアの動作状況に影響される場合があります。 ●セキュリティ対策ソフトがウイルススキャンを行っているとき ●他のソフトウェアの起動・終了時

BS・110度CSデジタル放送が映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。 参照 **アンテナケーブルを接続する** 『取扱説明書』
BS・110度CSデジタル放送用アンテナを使用していない	BS・110度CSデジタル放送を見るには、BS・110度CSデジタル放送用アンテナや、ブースター、ケーブルなどが必要です。 参照 **接続方法を確認する** 『取扱説明書』
アンテナ電源が供給されていない	BS・110度CSデジタル放送用アンテナを個人で設置している環境の場合、アンテナにアンテナ電源を供給する必要があります。アンテナ本体の使用方法を確認してください。FH700/AN、FH550/ANをお使いの方は、このパソコンからアンテナに電源を供給することもできます。「Windows Media Center」のメニュー画面から「Extras」→「BS･110度CSアンテナ電源の設定」→「受信時連動オン」の順に選択してください。 NH900/5AT、NH900/ANTをお使いの方は、「BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について」（→巻末）で確認してください。
有料放送の申し込みをしていない	有料放送の番組を見るには、別途申し込みをする必要があります。詳しくは、各放送局にお問い合わせください。
B-CASカードが正しくセットされていない	B-CASカードが正しくセットされていないと、BS・110度CSデジタル放送を見ることができません。次のマニュアルをご覧になり、B-CASカードを正しくセットしてください。 参照 **B-CASカードをセットする** 『取扱説明書』
他のソフトウェア動作中	次の例のように、他のソフトウェアの動作状況に影響される場合があります。 ●セキュリティ対策ソフトがウイルススキャンを行っているとき ●他のソフトウェアの起動・終了時

BS・110度CSデジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
雨、強風などの悪天候により、アンテナが揺れたり、電波が弱くなったりしている	BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などの悪天候により、衛星からの電波が弱くなることがあります。天候の回復を待ってください。また、このとき録画した番組は、正常に再生できないことがあります。
電波が弱い	アンテナの受信レベルを画面で確認しながらアンテナの向きを調整してください。アンテナの受信レベルの確認方法については、「受信レベルのテスト」（→P.13）をご覧ください。アンテナを調整しても受信レベルが改善されない場合は、アンテナ工事業者やお近くの電気店にご相談ください。
アンテナケーブルの接続がゆるい	アンテナケーブルがパソコン本体のコネクタにしっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルはノイズの入りにくいネジ式F型コネクタのものをお使いください。
分配器を使用していることで電波が弱くなっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。 アンテナケーブルをパソコン本体に直接接続してください。

スピーカーから音が聞こえない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
音量が小さすぎる	リモコンの音量ボタン（P.14）または操作パネル（P.16）で音量を調節してください。
パソコン本体にヘッドホンが 接続されている	パソコン本体にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。

スピーカーからプツプツという雑音が聞こえる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
パソコンの近くで電波を発生する装置（携帯電話、PHSなど）を使用している	故障ではありません。携帯電話、PHSなどをパソコンから離してお使いになるか、使用をおやめください。

リモコンが効かない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換してください。 参照 **リモコンに乾電池を入れる** 『取扱説明書』
リモコンの電池の 使用推奨期限が過ぎている	電池には使用推奨期限が明記されています。使用推奨期限を確認してください。使用推奨期限が過ぎていると、正常に動作しないことがあります。
リモコンの電池が 正しい向きに入っていない	電池の極性（＋－）を正しい向きにして入れてください。電池が正しい向きに入っていないと、リモコンは動作しません。 参照 **リモコンに乾電池を入れる** 『取扱説明書』
ACケーブル、またはACアダプタが 正しく接続されていない	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 参照 **初めて電源を入れる** 『取扱説明書』
リモコン受光部に蛍光灯などの 強い照射光が当たっている	パソコンの向き、設置場所を変えてください。
リモコンの信号が リモコン受光部に届いていない	リモコン受光部の使用可能範囲内で、リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。 参照 **パソコン本体のリモコン受光範囲** 『取扱説明書』

原　因	対　処
リモコンからの命令を パソコンが正しく受信していない	リモコンがリモコン受光部に正しく向いていなかったり、リモコンとパソコンの間に障害物などがあったりすると、リモコンは正しく動作しません。 参照 **リモコンをお使いになる場合の注意** 『取扱説明書』
リモコンマネージャーが起動していない	リモコンをお使いになる場合は、「リモコンマネージャー」が起動している必要があります。画面右下の通知領域にある をクリックし、 が表示されているかどうか、確認してください。表示されていない場合は、（スタート）→「すべてのプログラム」→「リモコンマネージャー」→「リモコンマネージャー」の順にクリックします。通知領域の隠れている部分に、 が表示されたことを確認してください。 また、パソコンのセットアップ時に「必ず実行してください」を実行していないと、リモコンマネージャーが正常に動作しないことがあります。デスクトップに （必ず実行してください）が表示されている場合は、クリックして「必ず実行してください」の処理を終了してください。
リモコンマネージャーがインストールされていない	リカバリなどを行った後に、リモコンマネージャーがインストールされていないと、リモコンを使用できません。 参照 **ソフトウェア** Web『補足情報』

予約録画に失敗する

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
予約時刻に Windows Updateが行われた	テレビ番組の録画中に、Windows Updateが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。テレビ番組の録画時間とWindows Updateの自動更新の実行時刻が重ならないようにしてください。 Windows Updateの自動更新の設定は、（スタート）→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックし、「設定の変更」をクリックして表示される画面で、確認、変更できます。
時刻設定が合っていない	「Windows Media Center」で予約録画するときは、パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。パソコンの時刻合わせについて、詳しくは、「パソコンの時刻合わせ」（P.26）をご覧ください。
パソコンの電源が入っていない	パソコンの電源が入っていないと、予約録画が開始されません。予約録画の設定後、パソコンを使用しないときは、スリープか休止状態にしてください。
スリープ・休止状態からの復帰が できなかった	「スリープ解除タイマーの許可」を「無効」にしていると、スリープ・休止状態から予約録画されません。（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「電源オプション」→「プラン設定の変更」→「詳細な電源設定の変更」→「スリープ」の順にクリックし、「スリープ解除タイマーの許可」の中の項目が「有効」になっているかどうか確認してください。
予約録画が重複している	予約録画が重複していると、正常に録画ができないことがあります。詳しくは「予約録画が重複した場合」（P.23）、マイクロソフト株式会社のWebページ（http://support.microsoft.com/kb/967652/ja/）をご覧ください。

録画番組のデータが一覧に表示されない

ダビングをするとき（→P.34）に、一覧に録画番組のデータが表示されない場合、次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
録画番組のデータを保存するフォルダーを変更した	ご購入時の状態では、録画番組のデータは「D¥Recorded TV」フォルダーに保存されます。このフォルダー以外の場所にデータが保存されていると、録画番組の一覧に表示されません。録画番組のデータを一覧に表示させたい場合は、上記のフォルダーにデータを移動するか、次の手順で設定を変更します（マウスまたはフラットポイントを使って操作してください）。 1.「録画番組をダビング」画面の何もないところを右クリックして表示される「フォルダ選択」をクリックします。 2.録画番組のデータを保存したフォルダーをポイントします（フォルダーの名称は、「ユーザー」→「User」、「パブリック」→「Public」のように置き換わって表示されます）。 3.「選択」をクリックすると、選択したフォルダーに入っている録画番組が一覧に表示されるようになります。

録画番組の一覧で、各番組のダビング可能回数が表示されない

デジタル3 搭載機種（→P.4）では、一度もディスクにデータを保存していない録画番組のダビング可能回数が表示されません。一度、ディスクにデータを保存した後は、残りのダビング可能回数が表示されるようになります。これは「Windows Media Center」の仕様ですので、あらかじめご了承ください。

デジタル放送の双方向サービスが利用できない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
利用している番組・放送がモデム接続しかサポートしていない	このパソコンでは、モデム接続しかサポートしていない番組・放送の双方向サービスは利用できません。

デジタル放送で、メッセージが表示される

表示されるメッセージから、次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
受信できません B-CAS カードが挿入されていないか、故障しているか、またはこのチューナーでは使用できません。カードが正しく挿入されているかどうか確認してください。	B-CASカードが正しくセットされていないと、デジタル放送を見ることができません。次のマニュアルをご覧になり、B-CASカードを正しくセットしてください。 参照 **B-CASカードをセットする** 『取扱説明書』

原　因	対　処
テレビ信号がありません このチャンネルのテレビ信号を検出できません。チャンネルの放送が一時的に中断されている可能性があります。それ以外の場合は、テレビアンテナを調整するか、接続し直す必要があります。	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 参照 **アンテナケーブルを接続する** 『取扱説明書』
微弱なテレビ信号 テレビチューナーが、選択したチャンネルの信号を受信できません。このチャンネルを正しく受信するには、信号の調整が必要な可能性があります。このチャンネルを選択し直してみてください。問題が解決しない場合は、受信契約会社にお問い合わせください。	
コピー禁止 放送局によって、このコンテンツのコピーは禁じられています。このコンテンツは録画されたコンピューターでのみ再生できます。	他のパソコンの録画コンテンツをこのパソコンで再生することはできません。また、C ドライブをリカバリするとリカバリ前に録画されたコンテンツはすべて再生できなくなり、このメッセージが表示されます。 インターネットに接続していない場合にも、このメッセージが表示されます。その場合はインターネットに接続し、「Windows Media Center」を再起動してください。この現象について、Microsoft社のWebページ（http://support.microsoft.com/kb/975588/ja/ および http://support.microsoft.com/kb/956400/ja/）に情報が公開されています。あわせてご覧ください。
画像または音声出力の競合 現在の要求に対応できるチューナーがありません。	このメッセージが出た場合は、いったん「Windows Media Center」を終了し、再度「Windows Media Center」を起動してください。
サービスを利用できません このチャンネルのテレビ信号を検出できません。チャンネルの放送が一時的に中断されている可能性があります。しばらくしてからやり直してください。	電波の受信は正常にできていますが、放送が中断されている場合にこのメッセージが表示されます。番組が放送されている時間に再度「Windows Media Center」を起動してください。
Aero グラスが無効です 保護されたこのコンテンツを再生するには、Windows Aero グラスを有効にする必要があります。この機能を有効にする方法の詳細については、Windows のヘルプとサポートで"Windows Aero"を検索してください。	Windows Aeroを有効にする必要があります。デスクトップの何もないところを右クリックし、「個人設定」→「ウィンドウの色」の順にクリックして表示される「透明感を有効にする」にチェックが付いているかどうか確認してください。 また、Windows Aero が有効になっていても、他のソフトウェアによって、画面の表示が一時的に「Windows 7 ベーシック」に変更されているときに、「Windows Media Center」を起動すると、このメッセージが表示されます。その場合は、他のソフトウェアを終了してから、「Windows Media Center」を起動してください。

索引 INDEX

BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について

BS・110度CSデジタル放送用アンテナに供給する電源を、「アンテナ電源」といいます。電源がアンテナに供給されないと、BS・110度CSデジタル放送の映像が表示されません。

アパート・マンション
などの共同住宅

共同アンテナが設置されている場合は、各家庭からの電源供給は不要です。

一戸建て住宅

アンテナ電源を供給可能な、液晶テレビなど他のデジタル機器とアンテナを“共有”している

はい

FH700/AN、FH550/ANの場合注

本製品とデジタル機器の“両方”から電源を供給する

「Windows Media Center」の「BS・110度CSアンテナ電源の設定」を「受信時連動オン」に設定すると共に、デジタル機器からもアンテナへの電源を供給します。全電流通過型の分配器が必要になる場合があります。

注：ハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・110度CSデジタル放送用）搭載機種

NH900/5AT、NH900/ANTの場合

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器から電源を供給する

いいえ

FH700/AN、FH550/ANの場合注

本製品から電源を供給する

「Windows Media Center」のメニュー画面から「Extras」→「BS・110度CSアンテナ電源の設定」→「受信時連動オン」の順に選択して（決定）を押してください。

注：ハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・110度CSデジタル放送用）搭載機種

NH900/5AT、NH900/ANTの場合

外付けの電源供給装置から電源を供給する

テレビ操作ガイド

発 行 日 2010年6月
発行責任 富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
Printed in Japan

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。

B6FJ-4131-01